

鎌倉市不妊治療費（先進医療分）助成事業受診等証明書

年 月 日

（宛先）鎌倉市長

医療機関の名称及び所在地

電話番号

主治医氏名

証明する治療・技術は先進医療として告示された治療・技術であり、当医療機関は、実施医療機関として厚生労働省へ届出を行っている又は承認されている医療機関です。

次の者については、保険診療として先進医療を含む体外受精等を実施し、これに係る医療費を次のとおり徴収したことを証明します。

主治医記入欄				
	夫		妻	
フリガナ				
受診者氏名				
受診者生年月日	年 月 日（ 歳）	年 月 日（ 歳）		
今回の治療期間 （保険診療）	開始	年 月 日 ※ 治療計画の日	採卵実施時 体外受精	
			顕微授精	
	終了	年 月 日	理由※2	胚移植のみ
				妊娠確認検査を実施 治療中止
胚移植の日	年 月 日 ※ 未移植で治療終了の場合は記載不要			
保険診療の回数	今回 回目（うち胚移植 回目）	初回の治療開始日の妻の年齢	歳	
治療費 （領収金額）	今回の体外受精等不妊治療にかかった費用 （保険診療及び先進医療の費用の合計額）		円	
	先進医療にかかった費用		円	
実施した治療・技術	<p>今回実施した治療・技術に<input checked="" type="checkbox"/>を入れ、実施日を記入してください。 【注】(1)から(12)までの他に、新しく告示された治療・技術を実施した場合は、(13)に記入してください。</p> <p>(1) <input type="checkbox"/> 子宮内膜刺激胚移植法（SEET法） 実施日： 年 月 日</p> <p>(2) <input type="checkbox"/> タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養 実施日： 年 月 日</p> <p>(3) <input type="checkbox"/> 子宮内膜擦過術（子宮内膜スクラッチ） 実施日： 年 月 日</p> <p>(4) <input type="checkbox"/> ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術（PICSI） 実施日： 年 月 日</p> <p>(5) <input type="checkbox"/> 子宮内膜受容能検査（ERA, ERPeak） 実施日： 年 月 日</p> <p>(6) <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査（EMMA, ALICE） 実施日： 年 月 日</p> <p>(7) <input type="checkbox"/> 強拡大顕微鏡による形態良好精子の選別（IMSI） 実施日： 年 月 日</p> <p>(8) <input type="checkbox"/> 二段階胚移植法 実施日： 年 月 日</p> <p>(9) <input type="checkbox"/> 子宮内細菌叢検査（子宮内フローラ） 実施日： 年 月 日</p> <p>(10) <input type="checkbox"/> タクロリムス投与療法 実施日： 年 月 日</p> <p>(11) <input type="checkbox"/> 膜構造を用いた生理学的精子選択術 （マイクロ流体技術を用いた精子選別） 実施日： 年 月 日</p> <p>(12) <input type="checkbox"/> 着床前胚異数性検査（PGT-A） 実施日： 年 月 日</p> <p>(13) <input type="checkbox"/> [] 実施日： 年 月 日</p>			
	※ TRI0検査を実施した場合は、(5)(6)の両方にチェックしてください。			

※1 今回の治療期間で行った治療方法について該当するものに○をしてください。

※2 今回の治療期間の終了日について該当するものに○をしてください。

裏面の【記入上の注意】を御確認の上、作成をお願いします。

【記入上の注意】

- ① 治療期間は、医師が治療計画を作成した日から妊娠を確認した日又は医師の判断に基づきやむを得ず治療を中止した日までとします。
- ② 一連の治療を分けて申請することはできません。治療計画に基づき、胚移植まで実施した場合が対象です。ただし、治療の途中で中止し、その後に新たな治療予定がない場合は申請可能とします。
- ③ 本証明は、治療期間ごとに1枚作成してください。